

# 川根高校生 インドサマーキャンプ



8月12～26日の2週間、川根高校生4人がインドサマーキャンプとして短期留学による海外研修を行いました。  
 この研修は、町内にサテライトオフィスを持つゾーホージャパン（株）と連携し、インドチェンナイ市内のゾーホーグループ本社内企業大学である「ゾーホーユニバーシティ」がプログラミングを含むIT研修として受け入れていただいたことで実現したものです。  
 インドという異国で勉強した2週間、生徒たちはどんな経験をして、どんな感想得たのでしょうか？  
 今回参加した4人のアンケートと感想をまとめてみました。

## Q4: インドで印象に残った場所や出来事は？

現地の学校を訪問したこと。日本では絶対に知らない人を入れたりしないのでとても良い体験になりました。自分たちのために歌やダンスを見せてくれたりと、とてもいい人たちだと感じました。  
 (中村衣里奈)

●高校生たちは、インドの小学校を訪問し、日本の紹介を英語で行いました。



英語の授業でのアクティビティで、インドの生徒が積極的に活動していたこと。  
 (中村恒和・瀧尾かのこ)

数学の授業で習っていないことが出てきたので大変だった。  
 (三浦聡真)



## Q5: 日本と違うな？と感じたことは？

- 世界遺産のマハバリプラムに行った際に、そのものに自由に触ったり写真が撮れたりしたのは日本では絶対にできないと感じ驚いた。  
 (中村衣里奈)
- 交通ルールなどの文化が日本と全く違った。  
 (中村恒和)
- インドの方は人柄がよく、オープンで何ごとにも積極的であること。生活環境の全てが違うので、行くところ全て印象的でした。  
 (瀧尾かのこ)
- すべてにおいて自由だった。  
 (三浦聡真)

## Q6: またインドへ行ってみたいと思いますか？

全員が **YES!!** と回答

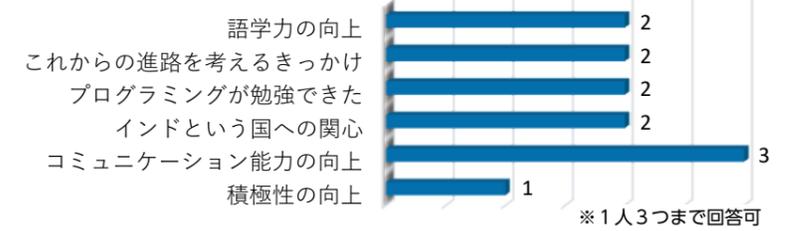
今回、初めての試みとして短期留学事業を実施しました。  
 来年度以降の継続等については、今回全面的な協力をいただいたゾーホージャパンとも調整を進め、川根高校の魅力化とも合わせた展開を目指していきます。

## Q1: 今回の研修に参加した目的は？



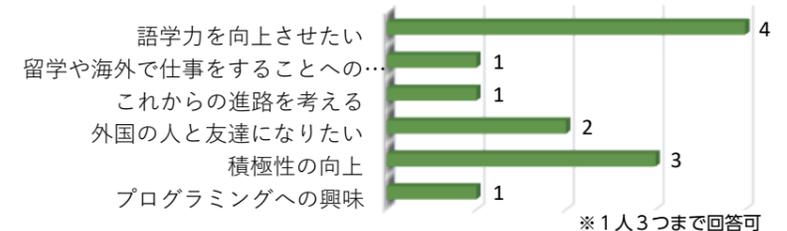
海外研修ということで、全員が「語学力の向上」と「コミュニケーション能力の向上」を選択。  
 また、今回は4人中3人が3年生となっており、そのうち2人が「これからの進路を考えるきっかけ」として参加を考えたようです。

## Q2: 研修の成果を感じることは？



異文化での生活は「コミュニケーション能力」を促進します。  
 今回は「英会話」だけでなく「プログラミングや数学」に関する学習も含むことから、生徒たちは多岐にわたる感想を持ったようです。

## Q3: 研修を通して強くなった思いは？



全員が「語学力の向上」を選択し、「積極性の向上」も3人が回答しました。  
 今回の研修での講義は全て英語で行われたことから、コミュニケーションにおける言葉の大切さと学ぶことに関する積極性を見つめ直した2週間だったのではないのでしょうか。

●インドへは高校生4人と引率の先生が1人、ゾーホージャパンと町からもそれぞれ1人ずつ同行しました。



●川根高校 芦沢駿教諭 (引率) ●三浦聡真さん (川根留学生) ●中村衣里奈さん ●瀧尾かのこさん

